

埼玉トヨペット Green Brave

AUTOBACS
SUPER GT
2020 SERIES

2020 RACE REPORT

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

2020年7月18日(土)・19日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round 1

たかのごホテル FUJI GT 300km RACE

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

■ ■ ■ ■ タイヤ無交換作戦が的中！ 記念すべき SUPER GT 初優勝 ■ ■ ■ ■

2020年のSUPER GTが新型コロナウイルスの影響により、4か月遅れで開幕した。史上初の無観客開催、予選と決勝を1日で行う1DAY開催など、異例づくめの初戦。SUPER GT参戦4年目の埼玉トヨペット Green Braveは、新たに開発したGR スーブラ GTを投入し、吉田広樹選手とFIA-F4からステップアップした若手、川合孝汰選手のコンビでフル参戦する。GT300クラスのエントリー台数は29台。日曜日の天候は曇り。予選(Q1)はA組とB組に分かれて行われ、埼玉トヨペット Green BraveはB組に出場。15台中、上位8位までに入れば、Q2進出となる。Q1のドライバーはルーキーの川合選手。緊張した面持ちの川合選手だったが、2回目のアタックで最初のタイムを2秒近く短縮する1分36秒683をマーク。4位でQ1を通過し、チームの期待に応えた。Q2のドライバーは吉田選手。吉田選手は1回目のアタックで川合選手のタイムを短縮する1分36秒594をマークし、4位につける。その後、タイムを更新することはできなかったが、順位は変わらず。4位で予選を終え、2列目の好位置からスタートすることになった。

決勝は300km(66周)。チームはクルマとタイヤのマッチングに自信を深めており、合同テスト時から準備を進めてきたタイヤ無交換作戦を執行。川合選手が序盤を落ち着いてまとめ、タイヤが消耗する後半を経験豊富な吉田選手で乗り切れば、トップでフィニッシュできると目論んでいた。落ち着いてスタートをきった川合選手は4位をキープ。しかし、1周目に発生したアクシデントにより、すぐにセーフティカー(SC)が導入される。6周目からレース再開。川合選手は1コーナーの進入で#2エヴォーラのインを奪い3位、さらに17周目に#11GT-Rを抜き2位まで順位を上げる。20周を過ぎたあたりからライバルがピットに入るようになり、トップを走行していた#65メルセデスAMGが先にピットに入る。しかし、タイヤ交換に手間取ってしまいタイムをロス。これにより川合選手は2位のクルマに大差をつけ、トップに浮上する。川合選手は30周目にピットイン。吉田選手に交代し、給油のみでピットアウトする。コースに復帰した吉田選手の順位は5位。しかし、ライバルの多くはピットインを残しており、事実上のトップに立つ。吉田選手は34周目に3位まで順位を回復。追い上げを図るが、コース上でアクシデントが発生。2回目のSCが導入され、タイヤ無交換で稼いだマージンを失ってしまう。41周目からレース再開。上位のクルマがピットに入ったことで、吉田選手はトップに立つが、後方から#11GT-Rが急接近。一時は1秒以内まで接近を許すが、吉田選手は渾身の走りで引き離す。2台の差は48周目には2.337秒、58周目に3.001秒差まで拡大。終盤、#11GT-Rもペースダウンし、スタッフは勝利を確信する。62周目にチェッカーフラッグが振られ、まさに狙い通りの作戦勝ち。チームと吉田選手はSUPER GT初優勝、川合選手とGR スーブラ GTにとっては驚異のデビューウィンとなった。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

(吉田広樹/川合孝汰)

決勝：1位(62周、1時間53分57秒330)

予選：4位(Q2：1分36秒594、20番グリッド)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	埼玉トヨペット Green Brave GR Supra GT(トヨタ GR スーブラ GT)	62周
2位	GAINER TANAX GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	62周
3位	マッハ車検 GTNET MC86 マッハ号(トヨタ 86 MC)	62周
4位	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	62周
5位	TANAX ITOCHU ENEX with IMPUL GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	62周
6位	LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG GT3)	62周

天候：くもり、路面：ドライ ※トップ6まで(出走29台)



DRIVERS VOICE



第1ドライバー吉田広樹

(予選後) レースを考えたら悪くないと思いますが、自分的にまとめたというか、もうちょっといいアタックができたかなというところがあってそこが引っかかっていて気になっています。もうちょっといい順位で孝汰の晴れ舞台を用意できたらと思っていました。予選よりレース重視でタイヤを選んでいるので、レースを考えれば4番手は悪くないと思います。

(決勝後) ぼくもチームも SUPER GT 初優勝なので、共にうれしいです。まだ実感はなく、これから実感がちょっとずつ湧いていくと思います。前回のテストを含め、今回は絶対タイヤ無交換でやるという目標を、どんなコンディションにも合うように考え、テストでもそのためだけに時間を使ってやったことがこの結果につながったのだと思います。タイヤは最後までいいパフォーマンスを出してくれました。



第2ドライバー川合孝汰

(予選後) 足が武者震いするぐらい震えていたのですが、ピットロード出たらいつもの状態に戻りました。路面状況的に濡れているところはあったのですが、グリップしていたので特に影響はありませんでした。吉田先輩に渡せたのでひと安心です。タイムはまだまだ出る感じだったので、タイヤを残せたのは良かったです。

(決勝後) 優勝でき素直にうれしいです。タイヤには余裕があったのですが、タイヤの破片やパーツがコース内に散らばっていた影響で、自分の強みのあるところで抜けず、弱いところでなんとか離されずという展開が続いていました。レオンがゲイナーを抜いたタイミングで、ゲイナーのペースがおちてきたというのがあったので、自分のいきたいところでいけました。まだ正直、引き出しが全然ないので。重量を載せた時や気温が上がった時、無交換じゃない時など、課題がいっぱいあります。そういう意味では今回は運が良かったというだけなので、他のカテゴリーでも勉強して、どんどん吸収していこうと思います。



©GTA



©GTA



©GTA

チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	52	埼玉トヨペット Green Brave	23
2位	11	GAINER	18
3位	5	TEAM MACH	14
4位	56	KONDO RACING	11
5位	10	GAINER	9
6位	65	K2 R&D LEON RACING	8

トップ6まで(全27チーム中)

PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



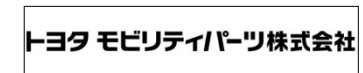
埼群スリーボンド株式会社



株式会社 Team Iwakiri Japan



株式会社 ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

【次戦予告】 8月8日~9日 富士スピードウェイ(静岡県小山町) ※無観客開催